

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 中武泰一郎
 副会長 函 師 義 孝
 幹 事 藤 本 範 行
 例会日 毎週木曜日 12:30~
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1739 回 平成 24 年 5 月 24 日プログラム

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
我らの生業 | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 明倫賞授与式 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 長峯 基

中部分区ガバナー補佐 林 務

2730 地区テーマ

とにかく「善いことをしよう。」

高鍋ロータリークラブテーマ

原点をみつめ「団結」「創造」「挑戦」

5月の月間テーマ

次年度準備月間

本日の例会案内

- *明倫賞授与式~創作エイサー「高鍋しんかんちゃー」
- *例会終了後プログラム委員会

次週例会案内 ; 5 月 31 日 (1740 回)

- *100 万ドル
- *地区大会報告

第 1738 回 例会内容

■会長の時間

中武泰一郎君

ギリシャで行われた総選挙後の、連立による組閣工作は難航を極め、再度選挙との報道がなされております。

世界経済が不安定の中で、EUでの混乱が金融危機の引き金にもなりかねません。そうなれば、低迷する日本経済にもさらなる影響があることはあきらかです。

江戸時代の作家井原西鶴の代表作に六卷三十六話からなる「日本永代蔵」があります。1668年の作品。

町人の富をテーマにした、浮世草子です。副題には「大福新長者教」とあります。金持ちはいかにして金持ちになったか。

その1話に「初午(はつうま)の借銭」という話があります。「初午」とは2月の最初の午の日。稲荷を祭る稲荷祭り。毎年2月の参詣者に貸金をするもの。廻船問屋の若旦那が、水間寺から一貫文を借財します。仏のお金という事で、翌年に倍返しという条件です。神も仏もあるんでしょうか。



「世の中に、借金の利息程おそろしき物はなし」漁民向けの金貸し業を営み、そして、13年で8192貫文(約2億5千万円)にまでして。「借り逃げ」かと思っていた寺に返して驚かせる筋です。

西鶴の言葉に、「人間とて死んでしまえば一片の煙。そうなってしまえば金銀は瓦石と同じ」がある一方で。

「世に銭程、おもしろき物はなし」と言っています。

人間の二面性を興味深く描いています。

金銭にたいする執着は人間の性ということでしょうが、金銭の意義とは、それ自体の獲得が目的ではなく、あくまで生活の中で活かす事にあるという事を忘れてはならないと思います。

「流れに棹さす」という言葉があります。時流にうまくのって、目的に向かって順調に進む事です。

我々も、時流に乗ってこの時代を乗り切る、努力を積み重ねて行きたいものです。

■幹事報告

幹事 藤本範行君

<文書案内>

*6月のロータリーレート

1ドル=80円

*2012~2013年度地区協議会資料持参のお願い



◇新会員入会式

森本直樹君入会おめでとう！



◆出席報告

出席リーダー 福本幸良君

出席状況

会 員 数	47 名
出席会員数	38 名
ホーム出席率	82.61%
前々回の修正出席率	68.18%

◆BOX披露

親睦活動リーダー 石田喜克君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

中武泰一郎君 森本直樹さんの入会を祝して。

末長いおつき合いを宜しくお願い致します。

藤本範行君 森本君ようこそ高鍋ロータリークラブへ。

新しい仲間を大歓迎します。一緒に努力していきましょう。

黒木敏之君 森本君の入会を歓迎します。



出席の福本君



親睦活動の石田君

◇会員卓話

島子勝芳君

昭和47年3月10日
或るデンキメーカー
募集のツアーで、親友3
人、長友様（岩村君の義
兄）・山口様（山口君の
親父）とで、沖縄・台湾
3泊4日のツアーに参加
しました。



当時沖縄は米国の統治にありました。米軍の行動は大変なものでした。2ヶ月後、昭和47年5月15日に沖縄本土復帰し今年で40年目になります。

当時沖縄は外地ですので、パスポート必要もあります。

鹿児島島の鴨池空港発着でした。（但し、レシプロ飛行機プロペラ）感無量です。

私は、ロータリークラブに入会が昭和52年2月1日、4名同日入会の方々おられます。

今年で36ヶ年になりますが、平々凡々としていることが申し訳なく思っております。

◇会員卓話

柴垣復生君

我が人生を振り返って
去る5月4日は、私の満
87歳の誕生日であると共に、57回目の結婚記念日でもあった。



神戸や東京でのサラリーマン人生を卒業して70歳直前に墳墓の地である高鍋に移住して来たのは、ご先祖様の思し召しか、運命か、結果オーライであった。

わが人生には次の三つの大きな柱がある。

一つ目はラグビーライフ。二つ目はゴルフライフ。三つ目はロータリーライフである。

ラグビーは大阪の天王寺中学（旧制）の2年生からレギュラーメンバーで対外試合に出場して以来、海軍兵学校・京都大学・神戸製鋼・全関西チーム・全日本チームなどでプレーした。ポジションは背番号10のSO、正にラグビー一色の青春であった。輸出の仕事で海外出張を重ねたが、英国やオーストラリアやニュージーランドなどではお互いにラグーと解ると、トタンに親近感や信頼感が芽生えて商談も円滑に進んだ。

二つ目のゴルフはラグビーの現役を引退した32歳頃に始めたので、今や55年になる。ホールインワンの経験は無いが、エイジシュートは85歳前後に3回実現した。その内の一回はロータリークラブで米沢を訪問した際に実現したが、素晴らしい思い出である。

三つ目のロータリーライフは、高鍋に移住した直後に入会して以来の約20年になる。黒木鎮男さん（故人）の紹介で入会した。私のロータリーライフで特に思い出深いのは、第2730地区のGSE委員長を約5年勤めた頃に、GSEチームリーダーとして若いメンバー4名と共に、フィンランドの各地を約4週間訪問した事で、当時の関係者とは未だに交友が続いて居り、私の人生の貴重な財産である。

残り少なくなった一回限りのわが人生にとって、健康と安全が第一である事は云うまでもないが、何よりも{今が大事}であると痛感する今日この頃である。



松尾君



木浦君



田中君



井上君